

平成30年度東京都立三宅高等学校学校経営報告

学校名 東京都立三宅高等学校
校長名 中間 均

【評価基準】A: 目標レベル以上に達成できた、B: ほぼ目標レベルに達成できた、
C: 目標レベルを少し下回った、D: 目標レベルを大幅に下回った

目指す学校像	達成状況	自己評価	数値目標	達成状況
生徒の希望する進路希望を実現させる学校	卒業生12名中、4年生大学希望者3名中2名が、大学に合格することができた。他の1人は、第一希望の短期大学に合格した。就職3名。専門学校6名。浪人1名の計12名であった。	B	希望の進路実現100%	92%
21世紀型能力を育む授業の研究及び日常的な補習等の学習指導の充実により、生徒の学力を向上させる学校	進路部を中心とする組織的な補習を実施できた。また、大学受験組は進学指導コーディネーターが中心となりケース会議を開き、夏休みから土日も含めてほとんどの日を学校に登校させて学習させた。	B	学力を伸ばすための指導がなされている肯定意見100%	85%
生活指導、部活動、生徒会活動及び学校行事の充実を図り、生徒が社会の一員であることを自覚し、思いやりや感謝の心を持つと同時に、生徒の体力向上をめざす学校	島しょサミットへの参加やグローバルユースキャンプに生徒会の生徒が2名ずつ参加して意識を高めた。部活動ではボルダリング部が全国大会に出場した。	A	行事満足度100%	93%
読書活動、実験・実習等の体験的な学習及び各種検定の資格取得により生徒に幅広い知識を身につけさせる学校	朝読書は、継続して行っている。今年度は総合的な学習の時間で2組全国大会に代表となった。漢字検定が6名。総合的な学習の時間で行っていることをマイ・プロジェクト・アワードに参加させ全国大会に2組代表となった。	B	卒業までに70%以上の生徒が各検定の3級以上に合格させる	46%
保小中高一貫教育及び連携型中高一貫教育校の特色を活かし、教育内容の工夫や、他校種との連携協力によって、三宅島の教育力の向上に努める学校	本校農場での保育園芋ほり遠足の実施。進路ガイダンスの中高合同実施。漢字検定、英語検定の中高合同実施。保小中高合同音楽会の実施。小中高で合同マラソン大会を実施できた。	B	三宅小中学校との連携が図れているという肯定意見90%	73%
心身の健康の向上と同時に防災教育を積極的に行うことによって危機管理体制の備えを持った学校	年間4回の避難訓練と宿泊防災訓練を1年生を対象として1回実施した。不審者対策の訓練を行った。当日は、警察官が不審者役となり生徒を守りながら教員が取り押さえた。	A	健康安全に対する指導満足度100%	92%
いじめや体罰根絶に向けた取組みを推進し、安心、安全な教育環境づくりを行い、生徒がのびのびと学べる学校	生活指導は、特に大きな問題点はなかった。これは、朝の立ち番等で毎日の生徒の顔つきを生活指導部が確認しているため、問題行動を未然に防いでいる。部活動も全員が入部していて、行事での活躍が顕著である。	B	学校行事に楽しく積極的に参加しているか100%	72%
三宅島の行事・イベントへの協力を積極的に行うとともに、ホームページ等の広報活動を充実させ、開かれた学校作りをアピールすることで三宅島の復興・発展に貢献しようとする生徒を育成する学校	学校だよりを年間5回発行、ホームページ更新を250回以上行なった。昨年度に引き続き学校だよりを島民全戸に配布して三宅高校での取り組みを理解していただくとともに生徒が島に貢献している姿を広報した。おたのしみ運動会では、高校の教員の参加者が多かった。	B	学校の情報を保護者、地域に積極的に発信している。95%	85%
オリンピック、パラリンピック教育を推進し、豊かな国際感覚を醸成する学校	創立70周年記念式典では、パラリンピックで金メダルの女子卓球選手を招き、感動をよんだ。	B	学校生活に対する満足度100%	73%
特別支援教育を推進する学校	特別支援教育に関する委員会の開催回数がすでに9回開催した。全教職員が生徒理解に努めている。	A	委員会の開催回数3回	9回の実施
今年度の重点目標及び方策	達成状況	自己評価	反省等	
(1) 生徒の希望進路の実現	1学年からキャリア教育を充実させ、進路ガイダンスや外部模試を実施し、生徒の進路意識を高める。	総合的な学習の時間では、文部科学省主催「マイプロジェクト」において地域大会を勝ち抜き、見事全国大会に二組出場することになった。	A	生徒自身の適正を伸ばしたい。
	移動教室において、外部連携をはかり、職業観を高める。	全6回の進路ガイダンスやハローワークを入れての進路面接等を行い、生徒自身が自分の進路に対する意識改革が出来上がった。生徒の自信につながった。	B	中学校とも連携して行う。
	希望進路実現に向けた個別プログラムを組み、大学進学希望者には進学コーディネーターを中心として進路実現に向けた講習・補習を行うと同時に保護者対象の講演会を実施する。	進学コーディネーターを中心に各個人の希望進路に沿ったケース会議を実施した。年々成果が出ている。	A	受験生を学習する雰囲気にも盛り上げた。
	長期休業中、週休日等に組織的・計画的な講習・補習を行って、基礎学力の定着を図るとともに、大学受験等に向けた実力を養成する。島外からの来島者による講演会やその他イベントに積極的に参加させて、自分を見つめなおす機会を推進する。	ビブリオバトルで東京都ベスト16位。体育大学希望の生徒がボルダリングで全国大会出場。総合的な学習の時間ではマイ・プロジェクト・アワードで全国大会代表に二組。等の実績が出ている。	A	来年度も同じ方針で行う。
	等実究(の分及2)学かび習る日2指授常1導業的世のな紀充研補型実究習能及等力のを日学育常習む的指授な導業補の習充研	英教国理社について、学力スタンダードによる分析及び学力向上委員会を中心として主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善等に取り組む。	若手教員を中心として、授業改善が行われている。今年は全教員で授業についての研修会ができなかったが、個々で授業見学を行っている。	B
	公開授業週間・研究授業等を実施し、授業についての研修を行う。	研究授業を参観する人数が増えてきた。また、研究協議に参加する人数も増えてきている。	B	生徒をその気にさせる授業をめざす。
	大学受験希望者に特別講習・補習・個別指導を行う。	夏休みから土日も含めて、ほぼ毎日学校に通い受験勉強を行った。	A	補習は継続的に実施していく。
	放課後学習により家庭学習の習慣を身につけさせる。	学習管理表を記入させて、計画的に学習させることにより、基礎学力の定着を図ることができた。	B	計画的に学習させることを続ける。
	学習管理表を活用して、PDCAサイクルを回した学習を行い、基礎学力を向上させる。	学習管理表をどのように記入するかから指導を加えて行ったから成果が上がった。	B	来年度も同様に行う。

(3) 生活指導の充実	朝礼、日常の指導の充実及び強化週間等により組織的な生活指導を推進し、時間厳守の徹底・挨拶の励行・授業規律・頭髪服装身だしなみ指導の徹底、道徳心、愛校心の涵養を図る。	月1回の朝礼を実施した。副校長を中心として行うことができた。月の目標は継続して行っている。校歌の練習を行い今年も愛校心を育てることができた。	B	継続して行っていく
	全教職員が清掃指導にあたり、学校美化に努める。	清掃をきちんとできるようになった。古い校舎であるが、生徒が自主的によく動き、清掃活動を行った。	A	場を清める指導を継続する
	教育相談委員会を中心にスクールカウンセラーと連携をとり、指導の充実を図る。	養護教諭を中心として月1回の教育相談委員会を開催することができた。そのためか、大きな事故が起こらなかった。	B	継続して行う
	アレルギー対策委員会との連絡を中心に教職員のアレルギーへの理解を深め、保護者との連絡を密にする等、指導の充実を図る。	アレルギー対策委員会は、今年度は実施されなかった。	C	来年の課題である
	部活動、学校行事を更に充実させる。	学校内外で生徒も教員も積極的に行事に参加していた。	A	来年度につなげていく
	生徒会・委員会活動指導の充実を図り、生徒の自主的な活動の支援を積極的に行う。	島しょサミットへの参加やグローバルユースキャンプに生徒会の生徒が2名ずつ参加して意識を高めた。球技大会、文化祭は生徒会が企画実行した。	B	生徒会を盛り上げていく。
	地域活動に積極的に参加する。	地域活動には積極的に参加している	B	継続させる
	毎月の目標を設定する。	副校長が朝礼の話を担当した。その中で月の目標の説明を行った	A	生徒の進路実現につな

推 充 実 習 進 及 び 各 種 検 査 活 動 、 実 験 の 推 進 等 の 推 進	朝の読書を全校一斉に実施し、読書習慣を身につけさせる。	週5回の朝読書から3回読書、2回新聞の写経を実施した。今後も続けて成果を検証していきたい。	B	良い文章に触れさせていきたい
	ビブリオバトル（書評合戦）の校内予選を行う。	東京都で16位となった。今後も実施していく。	B	来年度も都大会を目指していく。
	漢字検定・数学検定・英語検定・ワープロ検定等の受検者の指導を通して、基礎学力の向上を図る。	漢字検定3級以上の数が増えた。その他の検定も合格者を増やすようにしていきたい。	B	受験者を増やすことが大切である
小 中 高 一 連 貫 教 育 を 推 進 す る 及 び 保	農業実習、プランターの提供、本校生徒による保育実習等を行う等、保育園や小学校等との連携を推進する。	保小中の卒業式に例年のように農業科によるプランターが提供された。また、保育園実習を家政科の授業で行った。	B	今後も継続したい。
	中高連携を見直し、6年間を通じた学力向上・キャリア教育等の方策について検討する。	中高連携より保小中高の連携が大きく前進した。6年間を通じた学力向上・キャリア教育にはまだ課題が残る。	C	中学校との連携の教化
	中学生とその保護者対象の学校説明会・体験授業、部活動交流、中高合同検定試験の実施等により中学校との連携を推進する。	保護者対象の進学講演会を実施して、取り組みとしては十分な成果があったと考えている。部活動の交流も検定試験も実施できた。	B	何故連携するかをじっくり話し合うべきである
	マラソン大会を小中高合同で計画的に準備を進め、合同で実施する。	今年も保小中高の合同マラソン大会を実施できた。発達段階の違いがあるせいか、全体がひとつになっていなかった。	C	新たな対策が必要である
全 教 育 の 避 難 訓 練 、 火 山 学 習 等 を 通 し て 防 災 安	宿泊を伴う避難訓練を含め年間4回の避難訓練を組織的・計画的に実施する。	火事、火山ガス、地震、不審者対策等、様々な災害を想定して、年4回の避難訓練を実施した。	B	備えあれば憂いなし
	防災教育の充実を図る。	防災マニュアルは企画室長が中心となり作成した。	B	マニュアルを確認させ
	火山ガス、泥流に対する防災・安全対策を図る。	火山ガスについては、ほとんど安心安全な島になった。泥流についても砂防ダムを村が作っている。	B	常に状況を見て避難できるようにする
	登下校時及び校外学習時等における安全対策を徹底させる。	学校外にいるときに災害が起こった時のことをシミュレーションさせて安全を考えさせた。	B	最悪の状態を想定する力をつける
	施設設備の再点検を行い、校内での危険箇所を修繕して、戦略的な整備計画を作成する。	年度当初に教職員全員が目で、校内で危険箇所がないかを探して報告するようにした。	B	備えあれば憂いなし
	防災用品備蓄倉庫の整備及び防災用品の充実を図る。	企画室が中心となり備蓄倉庫及び防災用品を総点検した。	A	常に新鮮な目で確認する
	警察と連携してテロ対策の避難訓練を入れて、緊急事態に備える。	今年もテロ対策を行った。村でも空港でテロ対策を行った。	B	防災計画の中にも策定した
絶 え ず 体 罰 を 根	複数の教職員の目で生徒の状況を観察して、異変に気づいたらすぐに報告する体制をつくる。	今年も生活指導部による毎朝の校門指導を行い、生徒に目をかける指導を行った。年3回のいじめのアンケート調査を行った。	A	いじめは必ず起こると思いながら、調査を
	体罰を伴う指導はしない。また、体罰を伴う指導が起きないように研修会を行う。	服務事故防止研修の実施や体罰調査を学期に1回行い、体罰による指導が行われていないかどうかをチェックした。	A	継続して行っていく
へ 三 の （ 宅 交 流 ） と 島 民 の 共 同 の 興 隆	学校開放・公開講座・ボランティア活動・図書的一般貸し出し等により、地域貢献を推進する。	体育館、グラウンド、剣道場、柔道場、テニスコート、図書館等の学校開放ができた。	B	ツイッターを活用する
	三宅島復興・発展につながる島内のイベントに参加・協力・貢献する。	小中高合同運動会、分科会等生徒も教員も積極的に参加した。綱引き大会は感染症予防のため中止となった。	A	来年度も継続させる
を ピ バ ン （ 推 ッ ラ ピ ） 進 ク リ ッ ク オ リ ン ピ ッ ク	メダリストによる講演会を実施する。	70周年行事の際にデフリンピック女子卓球シングルスチャンピオンを招き講演を行った。	A	日本の良さを実感させ
	体育の実技の時間で、スポーツクライミングを体験する。	体育の授業で全生徒がボルダリングを経験する。ボルダリング部が全国大会に出場した。	A	来年も全国大会に出場する
特 別 支 援 推 進 支	特別支援コーディネーターを中心として、個別の指導計画を作成する。	個別の支援計画を作成するほどの生徒がいなかった。	C	今後も継続する。